

# 放送要領

## 1. アナウンサーの留意事項

- (1) アナウンサーは、試合の演出者の一人であることを自覚して放送業務にあたること。
- (2) 競技中は、審判員、選手は真剣にプレーを行っている。従って、このことを念頭に入れ、タイミングを考え、間違いなく落ち着いた的確に放送すること。
- (3) 言葉は「はっきり」「元気よく」「落ち着いて」「ゆっくり」をモットーに放送すること。
- (4) 試合前の諸準備を十分行い、ゆとりある態度で臨むこと。
- (5) 放送に周囲の雑音が入らないよう留意すること。
- (6) 原則として、インプレー中は放送しないこと。
- (7) 放送担当が試合ごとに代わる場合、その試合が終了した後、次の試合の後攻チームのシートノックを告げた後、交代する。
- (8) 健康に留意し、最良のコンディションで放送に臨むこと。

## 2. 業務内容

- (1) 45分前に放送室に着き、直ちにマイクテストを行うこと。
- (2) 試合開始予定時刻前に両チームの先発メンバーおよび担当審判員並びに公式記録担当、放送担当の発表を行うこと。
- (3) 試合途中における選手交代等は、その都度速やかに行うこと。
- (4) 試合終了と同時に試合結果を放送すること。
- (5) 次の試合チームにメンバー表の提出を求める放送を行うこと。
- (6) メンバー用紙から放送用紙に転記すること。
- (7) その他、必要な放送を行うこと。

## 3. 放送用語

- (1) 先攻・・・さきぜめ
- (2) 後攻・・・あとぜめ
- (3) 代打・・・だいだ
- (4) 代走・・・だいそう
- (5) 成年・・・せいねん
- (6) 選手名の放送は「君」付けで行うこと。
- (7) 同姓があるときは「姓」「名」を放送すること。
- (8) チーム名の放送は、試合開始時のみ支部（市郡）名とチーム名とする。その他は、チーム名のみとする。

## 4. 放送要領

- 第一試合開始30分前、攻守決定し、メンバー表が届いたとき
- 「おはようございます。（大会名）第〇日目日本の第一試合◇◇◇対△△△の試合は◇◇◇の先攻により行われます。後攻の△△△はシートノックを始めてください」
- 「時間は5分間です」
- 時間を見ながら、シートノック開始後4分が経過したとき
- 「シートノックは、あと1分です」

5分経過したとき

「シートノックを終了してください」

「先攻の◇◇◇シートノックを始めてください」

「時間は5分間です」

時間を見ながら、シートノック開始後4分経過したとき

「シートノックは、あと1分です」

5分経過したとき

「シートノックを終了してください」

若干間を空けてから

「只今より、◇◇◇対△△△の試合に先立ち両チームのスターティングメンバー並びに審判員をお知らせいたします」

「先攻の◇◇◇、

1番サード▲▲君(2回繰り返す)、背番号××、2番(守備位置)■■君……」

(以下9番まで同じ要領で放送する)

「後攻の△△△、

1番レフト▲▲君(2回繰り返す)、背番号××、2番(守備位置)■■君……」

(以下9番まで同じ要領で放送する)

「なお、この試合を担当いたします審判員は球審◇◇、1塁△△、2塁□□、3塁〇〇以上4氏によって行われます。

また、公式記録は□□、放送は▽▽が担当いたします」

若干間をあけてから

「試合開始まで、しばらくお待ち下さい」

☆ シートノックを行わないですぐ試合にはいる場合

第一試合開始10分程前

「おはようございます。(大会名)第〇日目本日の第一試合◇◇◇対△△△の試合に先立ち両チームのスターティングメンバー並びに審判員をお知らせいたします。」

「先攻の◇◇◇、

1番サード▲▲君(2回繰り返す)、背番号××、2番(守備位置)■■君……」

(以下9番まで同じ要領で放送する。)

「なお、この試合を担当いたします審判員は球審〇〇、1塁△△、2塁・・、3塁〇〇以上4氏によって行われます。

また、公式記録は□□、放送は▽▽が担当いたします」

若干間をあけてから

「試合開始まで、しばらくお待ち下さい」

○ 試合開始のとき

両チームのあいさつ終了後、守備位置に散る。その時直ちに、

「守備につきます△△△、ピッチャー▲▲君、キャッチャー△△君、ファースト▲▲君、セカンド▲▲君、サード▲▲君、ショート▲▲君、レフト△△君、センター △△君、ライト△△君」

○ 守備側の内野の転送球が済み、打者が打席にはいるとき

「1回の表、◇◇◇の攻撃は1番サード▲▲君、背番号××」

以下、同じ要領で打者が打席に入る直前に、打順、守備位置、▲▲君、背番号 ××と放送する。

打順一巡後は、背番号は省略する。 打者の打順、守備位置、氏名は一回にとどめる

○ 次の試合の連絡

6回（4回）が終了した時点で、次の試合のキャプテンがメンバー表を持参することになっているが、持参しない時は確認の上、次の放送を行う。

「次の試合◇◇◇のキャプテン（学童 監督とキャプテン）はメンバー表を持って本部席へおいでください」

○ 選手の交代のとき（球審の指示を受けてから発表する）

攻撃の場合

「バッター×番▲▲君に代わり、▼▼君、背番号××、バッターは▼▼君」

攻撃から守備にかわったとき

「先ほど代打（代走）いたしました▲▲君 そのまま（守備位置）に入ります。

×番（守備位置）▼▼君、背番号××」

「先ほど代打（代走）いたしました▲▲君が退き、（守備位置）に▼▼君が入ります。

×番（守備位置）▼▼君、背番号××」

※同イニング中、複数の交代者があった場合、打順の上位から発表すること。

守備の場合

「◇◇の選手交代をお知らせいたします。

ピッチャーの▲▲君に代わり○○君、ピッチャー○○君、背番号×」

ピッチャー以外の場合

「◇◇の選手交代をお知らせいたします。

セカンドの▲▲君に代わり▽▽君、×番セカンド▽▽君、背番号××」

複数の交代があった場合

「◇◇の守備位置の交代をお知らせいたします。ショート▼▼君がセンターに入り、センターの△△君がショートに入ります。×番ショート△△君、×番センター▲▲君」

「◇◇の守備位置の交代をお知らせいたします。ショート▼▼君がセンターに入り、センターの○○君が退き、ショートに××君が入ります。センター○○君、背番号××、ショート▲▲君、背番号××」

- 5回（4回）終了時グラウンド整備のとき
  - 「只今より、グラウンドを整備いたしますので、しばらくお待ち下さい」
  - ※ グラウンド整備が行われている間に他会場の試合経過や試合結果（支部〔県・市郡〕名を使用する）を放送する。
  - 例1. 「◇◇で行われています▲▲対▽▽の試合は5回を終わって3対1で▲▲がリードしています」
  - 例2. 「◇◇で行われています▲▲対▽▽の試合は？対？をもちまして▲▲が勝ちました」
  
- 6回（5回）に入るとき
  - 「お待たせいたしました。6回（5回）の表、◇◇の攻撃は×番（守備位置）▲▲君」
  
- 試合終了時のとき
  - 両チーム整列し、あいさつが終わった直後、または、終了後のサイレンが鳴り終わった直後
  - 「ご覧のように、本日の第一試合◇◇◇対△△△の試合は？対？をもちまして◇◇◇が勝ちました」
  
- 競技第一日目試合開始45分前（マイクテストを兼ねて）
  - 「会場の皆さん、おはようございます」
  - 「今日から3日間にわたり繰り広げられますこの大会がとどこおりなく行われますよう皆さまのご協力をお願いいたします」
  - 「競技運営役員の皆さん、早朝よりご苦労様です。選手の皆さんが技と力を十二分に発揮できますよう、よろしくをお願いいたします」
  - （第二・三日目も、この要領で行う）
  
- 第一日目全試合が終了したとき
  - 「本日の試合は、すべて終了いたしました。明日は当球場をはじめ、◇◇球場、△△球場、××球場でそれぞれ3試合ずつ行われます。多数ご来場いただき、あたたかいご声援をお願いいたします」
  - 「本日は、ありがとうございました。お気をつけてお帰り下さい」
  
- 第二日目全試合が終了したとき
  - 「本日の試合は、すべて終了いたしました。明日は、△△球場で午前8時30分より準決勝戦1試合、当球場で午前9時より準決勝戦、決勝戦が行われます。多数ご来場していただき、あたたかいご声援をお願いいたします」
  - 「本日は、ありがとうございました。お気をつけてお帰り下さい」
  
- 決勝戦終了後
  - 「引き続き閉会式を行いますので、しばらくお待ち下さい」
  
- 準備ができたとき
  - 「お待たせいたしました。只今から閉会式を行います」

## 選 手 の 交 代

### ☆ 攻撃の場合

#### 代 打

群馬クラブ、選手の交代をお知らせいたします。

6番赤城君に代わり、榛名君、背番号16、バッターは榛名君。

#### 代 走

群馬クラブ、選手交代をお知らせいたします。

二塁ランナー赤城君に代わり、榛名君、背番号16、二塁ランナーは榛名君。

### ☆ 攻撃から守備に代わった場合

群馬クラブ、先ほどの代打（代走）いたしました榛名君そのままセカンドに入ります。

6番セカンド榛名君、背番号16

群馬クラブ、先ほどの代打（代走）いたしました榛名君が退き、セカンドに妙義君が入ります。6番セカンド妙義君、背番号23。

### ☆ 守備の場合

#### ピッチャーの場合

群馬クラブ、選手交代をお知らせいたします。

ピッチャーの桐生君に代わり太田君、背番号17。

#### ピッチャー以外の場合

群馬クラブ、選手交代をお知らせいたします。

サードの東君に代わり佐波君が入ります。5番サード佐波君、背番号3。

### ☆ 複数の交代があった場合

群馬クラブ、守備の交代をお知らせいたします。

セカンドの妙義君がサードに入り、サードの榛名君がセカンドに入ります。

1番サード妙義君、背番号5。3番セカンド榛名君、背番号7。

群馬クラブ、守備の変更並びに交代をお知らせいたします。

センターの赤城君がファーストに入り、ファーストの榛名君が退き、センターに妙義君が入ります。

4番ファースト赤城君、背番号25。6番センター妙義君、背番号23。

# スコアブック記入記号等

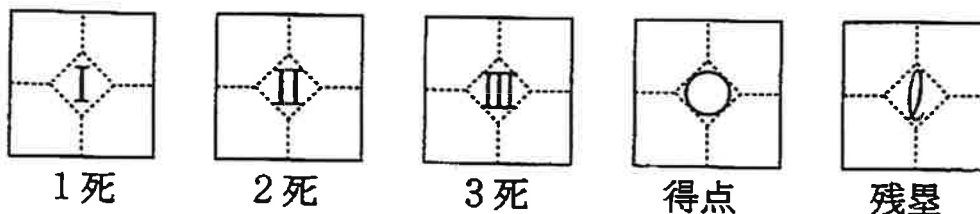
## 1. 表示数字等

- ①守備者 (算用数字)    1    2    3    4    5    6    7    8    9  
投手・捕手・一塁手・二塁手・三塁手・遊撃手・左翼手・中堅手・右翼手
- ②打者 (漢数字)        一・二・三・四・五・六・七・八・九
- ③アウト (ローマ数字)   I・II・III
- ④代打            H        代走            R

## 2. ボールカウント

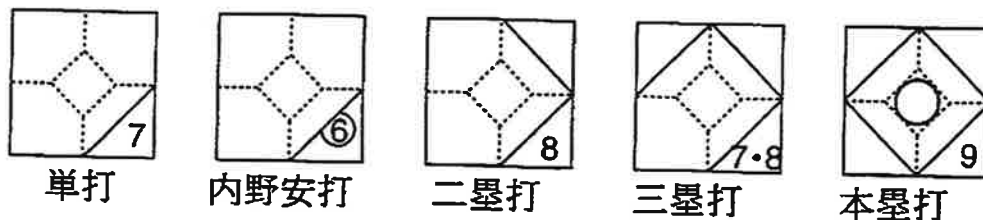
- ストライク (見逃し)
- × ストライク (空振り)
- ボール
- ファウル

## 3. アウトカウント、得点、残塁

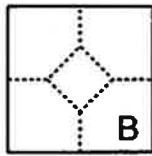


得点→○の中は打点を上げた選手の打順

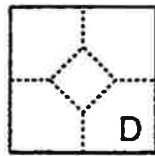
## 4. 安打



5. 四死球

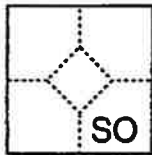


四球

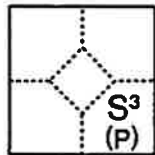


死球

6. 三振

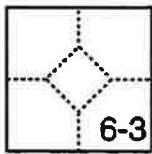


見逃し  
空振等

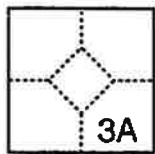


振り逃げ  
(暴投 W・捕逸 P)

7. 打球



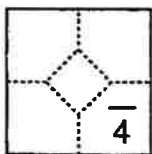
遊撃ゴロ



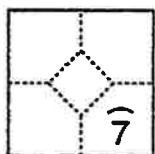
一塁ゴロを  
そのまま  
一塁を踏む

一塁…A  
二塁…B

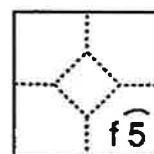
三塁…C  
本塁…D



ライナー

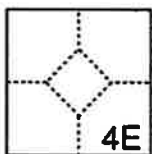


フライ

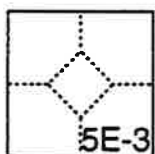


ファウル  
フライ

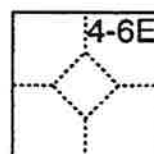
8. 失策



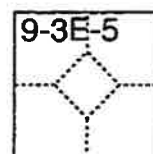
二塁手  
エラー



三塁手  
一塁悪送球

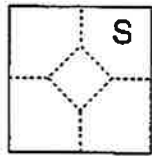


遊撃手  
落球

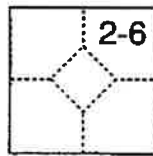


一塁手  
悪送球

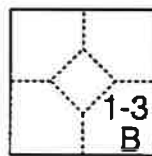
9. 盗塁、牽制死



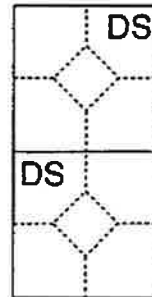
盗塁



盗塁死



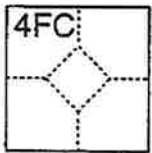
牽制死



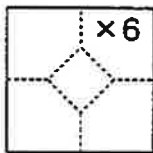
重盗

それぞれの当該塁に記入  
(三重盗はT S)

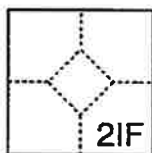
10. 野選、妨害



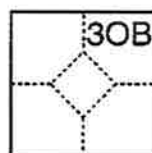
二塁手  
野選



守備妨害

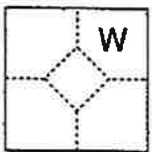


打撃妨害  
捕手に失策  
(打数に入らない)

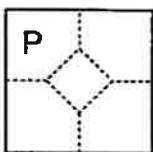


走塁妨害  
妨害した野手に失策

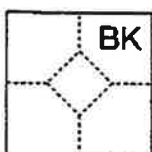
11. バッテリーミス



暴投

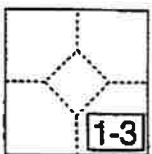


捕逸

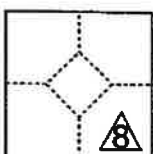


ボーク

12. 犠打、犠飛



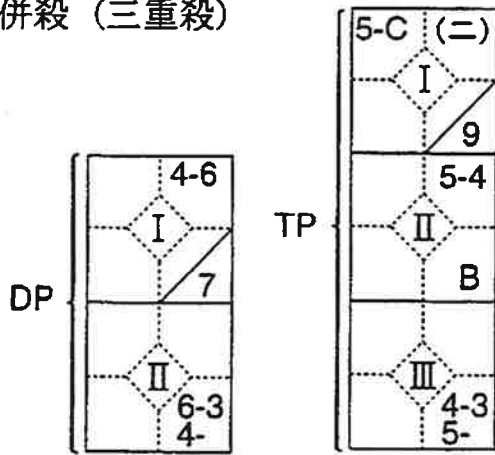
犠打



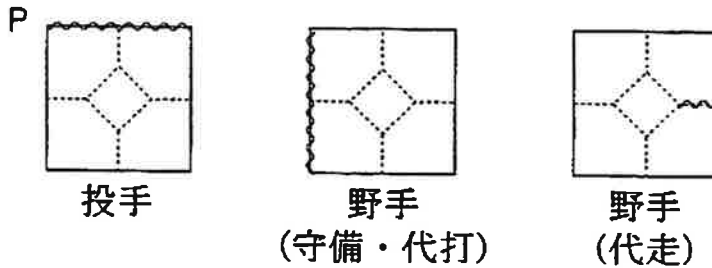
犠飛



13. 併殺 (三重殺)



14. 選手交代



	5	赤	城	1	
3	4	(5回)			..... 守備交代
	4	榛 (6回)	名	15	..... 選手交代
4					

15. その他

- 安打・得点は赤字記入 (守備位置・打順は黒字記入)
- 四死球・打撃妨害・犠打・犠飛は青字記入 (守備位置は黒字記入)
- 上記以外は黒字記入

## 審判上の注意事項及び確認事項

### 1. 試合開始前

- (1) 試合前に担当審判員4名で動き、その他の打ち合せをする。
- (2) 試合前に先立って、両チームのベンチを点検して、違反のバット・マスクがあればベンチから取り除かせる。
- (3) 両チームをベンチ前に並ばせ、審判員もバックネット横に並び、声をかけ、一斉に飛び出す(試合開始2分前)。
- (4) 両チーム整列して挨拶(監督の握手)、球審が号令をかける。選手と一緒に駆け足で定位置につく(2塁塁審は3塁の方向へ)。

### 2. 球審

- (1) 内野フライ、内野ライナーは前に出て宣告する。打球によっては、塁審が宣告できるが、試合前の打ち合わせで確認しておくこと。
- (2) 攻守交代の時は攻撃が完了して守備につくチームのベンチに駆け足で近づき、スピーディーな交代を促し、“さあ、行こう”のかけ声をかけ、捕手とともに定位置に帰る。捕手がレガース、プロテクターをつける時は、つけ終わるのを待って捕手とともに駆け足で定位置に帰る。
- (3) “ファウルボール”のあとの“プレイ”の宣告は必ず行う。
- (4) 抗議及び選手の交代はマスクをとって聞く。
- (5) 故意落球、インフィールドフライに注意。
- (6) ホームプレートはいつもきれいに掃く。背を投手板の方向に向けて掃く。(走者あるときのタイミング)
- (7) 野手が投手のところに行ける回数には、監督と共に行った場合は含まれないことに注意する。
- (8) 監督から選手交代の通告を受けるときは、“タイム”を宣告してから受け、本部へ駆け足で選手名を通告する。選手には“君”をつける。  
ただし、代打・代走のときは、その場で本部に向かって選手の背番号を見せて、「代打又は代走」と告げる。

### 3. 塁審

- (1) 試合のスピードアップにつとめる。攻守交代の時、攻撃を完了し守備につくチーム側の塁審(1塁か3塁)は駆け足でベンチ近くまで(ベンチのコーナーから約6m位)行き、“さあ、行こう”のかけ声で攻守交代を促すとともに最後の野手と一緒に駆け足で定位置に帰る。
- (2) 2塁塁審は2塁手、遊撃手の定位置まで行き、守備につくチームの中堅手とともに駆け足で定位置に帰る。

(2) 投手板の掃き方

攻守交代のとき、1・3塁の塁審は交互に投手板を掃く（すべて駆け足）。投手が投手板に来るまでに掃き終わること。

(4) “セーフ” “アウト” の宣告は確捕したか、タッグしたかよく確認しプレイが終了してから宣告する。“セーフ” のジェスチャーは両腕を地面と平行に開く。

(5) 外野フライはトラブルボールかイージーボールかを判断し、角度を第一に捕球したらアウトのジェスチャーを入れる。走りながらジェスチャーはするな。

(6) 塀際のファウルボール

早く塀に近づき、フェンスに打球が触れるかどうかよく確認して判定する。

(7) “ホームラン” “ツーベース” “スリーベース” ジェスチャーは大きく。

(8) “タイム” の宣告

全員同調せよ。宣告の時期を正しく判断せよ。プレイが行われている時は禁物。

プレイヤーが“タイム” 要求した時、即タイムではない。

(9) “ボーク” の宣告

全員同調せよ。形で説明するな。ボークくさいボークはない。投球・送球をともなった時にはポイントする。

4. 控審判（会場審判長兼務）

(1) 他の4人と試合を担当しているのだから、グラウンドに立っている心構えで常にボールから目を離すな。

5. 試合終了後

(1) バックネット横に整列、“礼” をしてグラウンドを出る。（球審が号令）

(2) 球審が中心となり、控審判員を含めて試合中の判定、フォーメーションについて反省を行う。

※動きはキビキビ、だらだらしない。一步以上は駆け足で!!

※常にボールから目を離すな。

※攻守交代時のボールは、プレイヤーから受け取らずに、マウンドにきちんと置かせること。

## 県大会監督主将会議、開・閉会(表彰)式 係員業務概要

### 監督主将会議

- 総 務
  - (1) チームの受付、出席者の確認
  - (2) 参加料、賛助広告料の徴収
  - (3) 駐車場の整理
  - (4) 組合せ抽選の補佐

- 司 会
  - (1) 会議の進行

### 開 会 式

- 総 括
  - (1) 開会式の責任者として全般を掌握し、指揮監督にあたる。
- 総 務
  - (1) 総括を補佐し、各係との連絡調整にあたり、円滑な開会式運営に努める。
  - (2) 司会進行にあたる。
  - (3) 役員等を所定の位置に整列させる。
  - (4) 音楽隊との連絡調整にあたる。
  - (5) 式次第を電光掲示する。
- 受付・式典
  - (1) チームおよび役員等の受付、参加選手、参列者の確認
  - (2) 優勝旗等返還の補佐、式終了後、優勝旗等をケースに入れ総務に引き継ぐ。
- 選手誘導
  - (1) プラカードを選手集合所に入場順に並べる。
  - (2) プラカード保持者および選手を入場行進順序に整列させる。
  - (3) 整列後、次のことを点検する。
    - ①参加選手人員の確認（選抜・JA杯学童大会優勝旗(代表旗)の有無）
    - ②スパイクシューズを履いているか（同色）
    - ③コートを着用していないか、（着用していた場合は、脱がせるか、ユニフォームの下に全員着用させる）
  - (4) 式要領を説明する。
  - (5) 退場口でプラカードを回収し、所定の場所に格納する。

◇先 導

- ①選手の入・退場を先導する。
- ②行進の要領を完全にマスターしておくこと。
- ③演奏開始と同時に出発し、一旦停止線で整列コースへチームを誘導する。
- ④最後のチームが、一旦停止線についたら、中央に戻り、プラカードを上げるように指示するとともに前進を合図し、全チームを停止線まで誘導する。
- ⑤全チームが停止線についたら、所定の位置に移る。

◇発 進

- ①選手を式開始5分前に入場口に誘導し、「選手入場」の放送により間隔よく発進させる。

◇誘 導

- ①行進コース際に立って、行進隊形を誘導する。  
(誘導後、退場に備え、退場口または選手の後方で待機する)
- ②退場の指示をする。

○ 旗掲揚

- (1) 国旗、大会旗(連盟旗)、主催者旗等を掲揚する。(国歌で一斉に掲揚)

閉 会 (表 彰) 式

○ 総 括

- (1) 閉会式の責任者として、全般を掌握し、指揮監督にあたる。

○ 総 務

- (1) 総括を補佐し、各係との連絡調整にあたる。
- (2) 司会進行にあたる。
- (3) 役員等を所定の位置に整列させる。
- (4) 音響設備の操作にあたる。(曲目の順序を間違わないように)

○ 選手誘導(先導)

- (1) 選手をベンチ前に一列横隊に並べる。
- (2) 選手の入・退場を誘導する。

○ 表 彰

- (1) 優勝旗等授与物品を確認し、所定の位置に置く。
- (2) 授与の補助を行う。

○ 旗降納

- (1) 掲揚されている国旗等を降納する。(国歌で一斉に降納)

## [プラカード保持者実施要領]

### 1. プラカード保持方法

- (1) 右手を上、左手を下にして、プラカードを保持する。
  - ① 右手の位置：手で顔を隠さないように、あごの下を位置とする。  
(表示板の下約30cmの部分)
  - ② 左手の位置：右手の約25cm下をしっかりと握る。
- (2) プラカードは、体の真正面で垂直に保持し、前後左右に傾けない。
- (3) 体から約5～20cm前に離し、プラカードの柄の下端が腹部の中央にくるよう保持する。

### 2. 行 進

- (1) 第1歩目は、左足からとし、音楽に合わせて、誘導員の指示に従い、所定のコースからはみだしをしないように注意して、定められた位置へ行進する。
- (2) 胸を張り、背筋をまっすぐに伸ばして、視線は真正面に向ける。
- (3) 前の行進者との間隔は、常に一定を保つようにする。
- (4) 正面のコースの標旗に差しかかったらプラカードの向きを変え、大会会長に見えるようにする。
  - ① プラカードの向きを変えるときには、時計回り(右回り)に90度すばやく回す。
  - ② 次の標旗で逆に(左回り)に90度すばやく回し、元の向きに戻す。
- (5) 一旦停止線についたら足踏みをやめ、後ろのチームのプラカード保持者が到着した時に一時プラカードをおろし、「気をつけ」の姿勢で待機する。
- (6) 一旦停止線に全チームが揃ったら、先導者の「前進用意」の合図で、一斉にプラカードを持ち上げ、「前へ進め」の合図で停止線まで揃って行進する。
- (7) 停止線についたらプラカードの上部を保持し、姿勢を正す。

### 3. あいさつ時

- (1) あいさつ前後に行う礼に対しては、あいさつ者に注目するだけで、礼は返さないでよい。
- (2) プラカードはそのままにし、顔だけを式台の方に向けて静聴する。

### 4. 旗掲揚時

- (1) 「掲揚台にお向き下さい。」の放送後、体及びプラカードを掲揚台の方へ向ける。
- (2) 脱帽の上、掲揚台に注目する。
- (3) 「もとの方向へお向き下さい。」の放送終了後、体及びプラカードを元の位置へ戻す。

### 5. 退 場

- (1) 「選手退場」の放送と同時に、一斉にプラカードを持ち上げ、誘導員の指示に従い退場する。(2～4チームづつ)
- (2) プラカードの高さは、左右の人と同じ高さになるように注意する。

### 6. そ の 他

- (1) 式典に望む場合は、緊張などにより貧血をおこすことがあるので十分に睡眠を取り、当日の朝は必ず食事をとることなど、最良のコンディションを保つよう心がける。
- (2) 体調が悪くなった場合は、遠慮せず右手を肩の高さにあげて、係員に連絡する。

# 関東軟式野球連盟連合会規約

## 第1章 名称及び事務局

- 第1条 本連合会は関東軟式野球連盟連合会と称する。  
第2条 本連合会は、事務局を理事長の所属する支部に置く。

## 第2章 目的及び事業

- 第3条 本連合会は、アマチュアスポーツとしての正しい軟式野球を関東地区全般に普及し、その健全な発展を図るとともに、各都県相互の親密な連絡と社会文化の向上に寄与することを目的とする。
- 第4条 本連合会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
- 1 各種軟式野球関東大会の主催及び後援
  - 2 軟式野球に関する研究調査
  - 3 軟式野球の普及発展に関する指導奨励
  - 4 軟式野球の技術向上に関する指導研究
  - 5 公認野球規則等の実施伝達及び審判技術向上に関する事項
  - 6 その他本連合会目的達成に必要な事項

## 第3章 組織

- 第5条 本連合会は、茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の全日本軟式野球連盟都県支部をもって組織する。

## 第4章 役員

- 第6条 本連合会に次の役員を置く。
- |     |     |      |      |
|-----|-----|------|------|
| 会長  | 1名  | 副会長  | 若干名  |
| 理事長 | 1名  | 副理事長 | 2名以内 |
| 理事  | 若干名 | 監事   | 2名   |
- 第7条 会長及び副会長は、総会でこれを選出する。  
理事は、都県支部より各1名とブロック審判部長を理事会で選出し、総会の承認を経て会長が委嘱する。  
前段で定めるほか、会長は理事を指名し委嘱することができる。  
理事長及び副理事長は、理事の互選により選出する。  
監事は、理事会で指定する支部より選出し、総会の承認を経て会長が委嘱する。
- 第8条 会長は、本連合会を代表し、会務を統轄する。  
副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。  
理事長は、会長及び副会長を補佐し、総会及び理事会の決議に基づき事務を統括処理するとともに、会務を執行する。  
副理事長は、理事長を補佐し、理事長事故あるときは、その職務を代行する。  
理事は、会務を掌理運営する。  
監事は、会計を監査する。
- 第9条 本連合会は、名誉会長を置くことができる。  
特に功労があった者を理事会で推薦し、会長が委嘱する。
- 第10条 本連合会に、顧問並びに参加を置くことができる。  
顧問は、各支部長及び本連合会に特に功労のあった者を理事会で推挙し、会長が委嘱する。  
参加は、理事として6年以上在任した者を理事会で推挙し、会長が委嘱する。
- 第11条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。  
役員が任期中に退任したときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。役員は、任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

## 第5章 会 議

第12条 本連合会の会議は、総会並びに理事会とする。

総会は毎年1回、理事会は必要の都度、会長が招集し、その議長となる。

総会は、役員をもって構成し、本連合会の事業、予算、決算及びその他重要事項を決議する。また、議決権を持たないが出席できる者は、全軟連評議員、関東支部事務局、関東大会協賛企業、ボールメーカーとする。

理事会は、理事をもって構成し、本連合会の運営について審議する。

第13条 総会は役員半数以上、理事会は理事半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

総会に理事が出席できないときは、代理人を出席させなければならない。また、理事以外の役員が出席できないときは、委任状を提出する。

理事会に理事が出席できないときは、委任状を提出するとともに、代理人を出席させなければならない。ただし、代理人は必要に応じ発言することができるが、議事の採決には加わることはできない。

第14条 会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

## 第6章 会 計

第15条 各支部は、毎年度別に定める会費を納入する。

第16条 本連合会の経費は、次に掲げるもので支弁する。

1. 会費 2. 補助金 3. その他の収入

第17条 本連合会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、同年12月31日に終わる。

## 第7章 専門委員会及び事務局

第18条 本連合会の事業遂行のため、専門委員会を設けることができる。

専門委員会の細目は、理事会が別に定める。

第19条 本連合会に事務局を置くことができる。

事務局に関する細目は、理事会が別に定める。

## 第8章 規約の変更

第20条 この規約は、総会の議決によらなければ変更することができない。ただし、公益財団法人全日本軟式野球連盟定款及び同附属規定の変更により改正の必要を生じたときは、理事会の議を経て変更されるものとする。

## 第9章 雑 則

第21条 この規約の施行について必要な事項は、理事会で別に定める。

昭和26年1月	制定
平成2年11月16日	一部改正
平成4年1月16日	一部改正
平成9年2月16日	一部改正
平成15年1月16日	一部改正
平成23年1月16日	一部改正
平成23年8月19日	一部改正



## 関東軟式野球連盟連合会規約施行内規

- 1 各支部より選出する理事は、原則として、支部の専務理事並びに理事長の職にある者とする。
- 2 理事会で指定する監事の選出支部は、会長・理事長・副理事長の所属する支部以外の二支部より選出する。  
なお、監事の任期は2期4年を限度とする。
- 3 監事及び副審判部長は、理事会に必要なに応じて出席し、発言することができる。  
また、総会も同様とする。